

2021年度 自己評価・学校関係者評価報告書

2022年 3月11日

学校法人聖十字学園

幼保連携型認定こども園聖十字幼稚園

1. 本園の保育教育目標

愛のうちに喜びをもって生き、自分の力で発見し、造り出しつつ、みんなと共に伸びゆく子ども

2. 本年度重点的に取り組む目標・計画、および、取り組み状況と課題

- ① 「主体的で対話的な深い学び」を園児が体験できるよう教育保育にあたる。同時に、職員自身も主体的に勤務し、子どもと関わる存在としてより良い環境となっていく。
⇒ キリスト教保育は本来、子どもたちと共に創りだす教育保育であり、原点に立ち返って教育保育を見つめるきっかけとなった。しかし、保育教諭自身がこれまで行って来た慣れた方法で教育保育を進める部分が多くなりがちで、子どもにとって「主体的で対話的な深い学び」とは何か?と問い続けることが必要であると実感した。
- ② 『教育保育内容』も、『入園から卒園までの園生活』も、『勤務する職員』も、聖十字幼稚園がひとつの園として歩めるよう、機会ある毎に職員相互のつながりを創り出していく。
⇒ 今年度新たに就任した副園長と保育部主任・教育部主任のチームワークにより、各部各課の職員同士に関わりや協力体制ができつつある。今年度1年間は中間管理職をはじめとした各職員が園の動きや働き多様性を知ること重点を置いてきた。
入園した子ども一人ひとりが卒園するまでの在園期間に充実した園生活が過ごせるよう、また、望ましい成長を促す保育教育内容が提供できるよう、研究・研修に努めたい。
- ③ 新型コロナウイルス感染対策や防犯対策等危機管理に努め、具体的な対応方法について積極的に学んだり、職員相互に情報共有する。
⇒ 年間を通して新型コロナウイルス感染対策に職員一同で努めてきた。しかし、間近に感染関連の動きが出たケースでは、知識不足によって不十分な対応になりがちで、都度学んでは次の機会に活かして来た。収束が見えない現状では今後も継続して対策に努めたい。
園内で発生した事故(怪我・物損)をヒヤリハット事例として学び合ってきたが、同じ事は繰り返さない・同じ事が起きないように対策を実践するという意識につながった。今後もリスクマネジメントを推進し、園の具体的な安全安心につなげたいと思う。

3. 教育・保育面での評価項目の評価、および、取り組み状況と課題

(A…達成した B…おおむね達成した C…どちらともいえない D…改善が必要である)

	評価項目	評価	取り組み状況と課題
1	保育の計画性	B	本園の教育保育方針に基づいた保育計画→実践→評価→改善を日々積み重ねた。見通しをもって指導案を立てたり、日常的な活動が行事につながるように順序だてたりするのは課題として残る。
2	保育のあり方、乳幼児への対応	A	主体的対話的に遊びや生活や活動が展開していくよう、保育環境や園児への働きかけを工夫した。一人ひとりの子どもが満足感・達成感・充実感などを味わうためにも乳幼児の発達段階を学ぶことが課題だ。
3	保育者としての資質と能力	A	どの保育教諭も、子どもの利益を最優先する教育保育を目指している。個々の思いや考えにとどまることもあるが、次第にお互いの思いや考えに耳を傾けてチームで教育保育を行っているという自覚が持てるようになった。
4	保護者への対応	A	コロナ禍での園行事中止により、顔と顔を合わせる機会が極端に少なくなった。保護者にとっても園生活や園での子どもの姿が見えづらくなっている。小さな事であっても園での子どもの様子を伝える必要性は増している。

5	地域の自然や社会との 関わり	B	0歳～2歳児は園生活の一部に散歩の時間が組入れられているが、年少児以上は園外保育の機会が少ない。活動内容の見直しにより、次年度の計画の中に子どもたちの心身の成長にプラスになる園外活動を増やしたいと考えている。
6	研修と研究	B	処遇改善の要件を満たしていくことも目的の一つだが、研修会に出席したことによって自分の世界が広がったと感じて喜ぶ保育教諭もいる。知らなかった自分に気づき、知ることの面白さを楽しめた。オンライン研修が主流だったが有意義な研修会が多く、来年度も積極的な研修会への参加を期待している。

総合的な評価結果 B

4. 学校関係者評価委員会による評価

1. 2021年度事業報告に関して

- ・「おむかえカード」の導入等、いろいろ工夫されていて素晴らしいと思いました。
- ・新型コロナウイルス感染症対策をはじめ、災害対策、不審者対策など、子どもたちを守るための対策に苦慮する状況がうかがわれます。先生方職員の方々のご努力に敬服いたします。
- ・防災対策、コロナ対策が良く検討されており、また、事故があってもすぐ変更したり対策されていると感じました。

2. 2021年度保育教諭による自己評価結果に関して

- ・全般に高い評価をしていて結構だと思われます。
しっかりやっているという自己評価だと思います。
- ・おおむね目標を達成していると感じました。

3. 2021年度保護者アンケート結果に関して

- ・保護者のかたの厚い信頼が感じられました。
- ・教育・保育の根本に関わる部分については、満足度が高いように思われます。写真注文など技術的な改善で済む部分は、すぐに対応できることと思われます。
- ・保育参観、懇談についてはコロナ禍もあり、実施にあたり、難しさもあったのではないかと察します。
- ・全体的に満足が多いので、園に満足しているのではと思いました。

4. 2022年度事業計画に関して

- ・来年度もひきつづき工夫をこらしてコロナ禍を乗り越えてほしいと思います。
- ・新型コロナウイルス感染症対策に追われる状況が続くと思いますが、状況が許す限り、子どもたちが伸び伸びと園内生活ができるよう配慮いただきたいと思います。
- ・学生アルバイト（実習生）はすごく努力して子どもと接してくれるという印象があり、子どももいつもと違う環境にとっても喜んでいた姿が見られ、コロナ禍だからこそ受け入れて欲しいと考えます。駐車場トラブルについては、カメラ設置や注意喚起、保護者会を交えての話し合いをもつなどの必要があるのではと思いました。